

ふだんのくらしのしあわせ を守るために 私たちができること



平成16年の福井豪雨で池田町も被災しました。
20年経った今だからこそ、あの日のことと、今を振り返りたいと思います。

当時、池田町社協は常安にあり、訪問介護事業とボランティアセンター事業を運営していました。7月18日(日)午前9時頃、浸水が始まった時からの社協の動きを追ってみました。

同時刻、利用者宅に訪問中のヘルパーが、玄関から水が入ってくるのを発見。「これは家にいたらあかん」と思い、利用者さんと一緒に避難しました。この連絡を受け、他の職員は安否確認を実施。一人暮らしの高齢者へ電話をかけ、連絡のつかない家には出向きました。職員の自宅も被災している中で、「自分たちが今できることをしよう」と必死だったそうです。その後、社協は池田町災害対策本部内でボランティアの受け入れと派遣を担うことになりました。

災害対策本部の様子



ねま る 新聞

2024
Autumn
Vol. **27**

車イス
チャイルドシート
無料貸出し中



お気軽に
お問い合わせ
ください



みんな一丸となって
復旧に取り組みました

池田の中学生と教員も
駆けつけてくれました



当時、中学生が災害ボランティアに参加することは全国的にも珍しいことで、大きな反響がありました。

池田町で初の災害ボランティアセンターの発足でした。教育委員会と協力し、一週間で1,621人のボランティアを現地へと派遣しました。岐阜県池田町など『全国池田サミット関係』の支援も大きな力になったそうです。

みんなが協力して
朝食の準備を
しています



『力になりたい』という人たちと、被災した住民さんを繋いで支援活動にあたるのが災害ボランティアセンターの役割です。池田町社協では普段のボランティア活動支援に加え、県社協と災害時相互支援協定も結ぶなど、日頃から池田町内外を問わない関係づくりを進めています。普段の暮らしの幸せを守っているのは「人と人の繋がり」だと実感した20年目の夏でした。

災害時も活用することができず 安定した暮らしを支えます 生活福祉資金制度

生活福祉資金とは、所得の少ない世帯、高齢者、障害者の世帯に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことで、経済的自立や安定した生活がおくれるよう支援することを目的とした貸付制度です。

- お問い合わせ先：池田町社会福祉協議会
- もっと詳しく知りたいときは…福井県社会福祉協議会ホームページへ

福井県 生活福祉資金貸付制度 検索

災害のニュースを見るたび「自分も何かしたい」と思うけど、できること、あるのかな？



教えて社協マン！ ～災害ボランティアって何をやるの？の巻～



お任せください！

災害ボランティアセンターと一緒に考えます♡
災害ボランティア＝ガレキ撤去等の力仕事を想像しがちだけど、被災者の話を聞いたり、ご飯を作ったり、最近では能登の震災後、避難所で壁新聞を作った子ども達の活動もニュースになりました！
キーワードは『自分にできることは何か』です。



能登半島震災においても社協が災害ボランティアセンターを立ち上げました。現在も支援を続けています。

よ〜し、早速相談に行こう☆

教えて！師匠！



足羽川ダム工事事務所の松尾さんと三橋さん

～ いけだの未来のこし隊 ～

いけだのからすなもん

今回のお宝：未来の守護神“足羽川ダム”

地域に伝わる暮らしの知恵や技、心…
池田町の宝を次世代に受け継ぐプロジェクト！

特派員のわたしたちが
体当たり調査しました！



ゆーみん まりりん



今回、特別に施工現場を見せていただきました！

ダムカードもあるよ☆



工程ごとに新しくなるから集めたい！



足羽川ダムに関するパネル等の展示がされています。

ダムギャラリーあすわ



今年の夏も暑かった！龍双ヶ滝でマイナスイオンを浴びて元気をもらったゆーみんです☆滝へ向かう途中の下池田の景色は、ダムの工事で刻々と変化しています。ダムは大きくて深い湖のようなイメージしかない私。なぜ水害時に役立つの？教えて、師匠！というわけでやって来たのがコチラ！

全国のおおきくが貯留型でダム湖があるのに対し、平常時は川の水を流し、洪水時にゲートを閉めて水を貯め、洪水後に安全な量だけ下流に流す構造だそう。

ダムの体積は、なんとサンドーム約2.5杯分！

足羽川ダムは、日本でも珍しい『流水型ダム』で、その中でも日本一のおおきさになるそう。

完成イメージはコチラ↓

この『ゲート』が付いているのは足羽川ダムだけ！



迫力のダムサイト…!!



←最高水位はココ

※横からの眺望です。

それぞれに役割があるんだって！最新の技術が使われているんだな～



公開されている展望台から目をこらして見ると…3つのゲートが見えました☆

取材時、たくさんのコンクリートが運ばれていました。このコンクリートが下池田で作られていることにビックリ！一体どこから材料が？

コンクリート打設中。コツコツ作ってます…!



足羽川ダムは治水専用のダムで、完成すると福井豪雨規模の洪水があっても、福井豪雨破堤地点で川の水位0.9m下げることができるそうなんです。

さらに、足羽川の河床部の掘削により、流れる水の量を増やすことで1.6mの水位低下が可能になります。

コンクリートの地産地消や



コンクリートの元となる石(骨材)は、千代谷の山から採られ、骨材プラントで4種類に分けられ、ベルトコンベアで運ばれ製造されるのです。



これがベルトコンベアか～!

ここか～!!



近年、毎年のように大雨が降り、水害が頻発しています。「ダム事業をキッカケに、防災の意識が高まってくれたら」と師匠がおっしゃっていました。

おススメは橋梁！14本も建てられる予定☆



足羽川ダムは世界に誇るべき技術や性能を持った土木構造物であり、観光資源としても活用しています。これをインフラリズムというそうです。私たちの生活を支えるダムをたくさんの人に見てもらい、防災意識を高めるキッカケになってくれたら、素敵ですね！

特派員のわたしたちが、ねま～る新聞を編集しています！



Q&A：食欲の秋☆私の給食の思い出



ケイティー 教室のストーブで炙って食べる煮干しは旨し



まりりん きな粉たっぷりの揚げパン



ゆーみん 毎年、牛乳瓶係に任命されたの、なあぜなあぜ？



のりぴー 給食ならではのデザート、楽しみだったな～



じゅんじゅん 美味しいのか、まずいのか、今でも分からないソフト麺



みぼりん 学校まで給食を運んでくれる「つばめ号」の到着☆

新鮮元気な夏野菜になっちゃった～



住民さんが似顔絵を描いて下さいました！